

2. 菰野調整池の主な写真



①菰野ダム下流からのダム堤体（5月）
ダム下流からのダム堤体の全景。
4月になると堤体は一気に新緑となります。

後ろの山は、雲母（きらら）峰。
直下流には水田が広がっています。
ダムは堤高28.4mのアースダム。



②堤体下流面（4月新芽）



③堤体下流面と菰野管理所



④ダム天端から堤体下流を望む
遠く四日市工業地帯が見えます。



⑤右岸副堤部（4月新緑）



⑥堤体下流面と鈴鹿山地（12月虹）

ダム天端からは鈴鹿山地の、御在所岳、釈迦岳、入道岳、藤原岳もよく見えます。



⑦堤体下流面と鈴鹿山地（11月紅葉）

同上



⑧取水工

利用水深が浅いため底部取水となっています。ここから取水した水は幹線水路を經由して加佐登調整池に運ばれるほか、竹谷用水路を經由して菰野町、四日市の農地に配水されます。

また、三重県企業庁水沢浄水場に送られます。



⑨三重県企業庁ポンプ場

菰野調整池の直下流に位置し、菰野調整池から取水された水はこのポンプ場から四日市の水沢浄水場に送られます。



⑩幹線水路注水工

中里ダムに貯水された水は幹線水路を南下して、途中、田光（たびか）川取水工、三滝川取水工から取水した水をあわせて、菰野調整池末端の注水工で菰野調整池に注水されます。



⑪南部導水路の注水工

鈴鹿川の支川、内部川取水工と御幣川取水工から取水した水は、菰野調整池に一旦、貯留されます。

この注水工は、南部導水路から注水するときに落差があるため、水のエネルギーを減勢する水理構造となっています。



⑫南部導水路の注水工

写真⑪と同じ

貯水池流入端。



⑬堤体上流面

波浪防止のため上流側は捨石施工
です。

満水標高 124.5 m

堤頂長 674 m 結構あります。



⑭菰野調整池湖面と御在所岳

4月新緑の頃の写真です。



⑮菰野調整池と雲母（きらら）峰

11月末紅葉もきれいです。貯水池
の周囲約2.2kmは散策できます
四季折々の景色と鈴鹿の山々を楽し



⑩番外編：御在所岳の登山道から
菰野調整池

登山道・中ルート of 地藏岩付近
から写真の右中央、菰野富士の
向こうにハート形の菰野調整池
をみることができます。

また、御在所ロープウェーからも
菰野調整池がよく見えます。